

地域に必要とされる場を作りたい / 若園 佳子さん

下川でのリアルな暮らしぶりを町内の方にお話ししていただくコーナー。
今月は2024年12月に食材のはかり売りと喫茶「月と野菜」をオープンした
若園佳子さんです。

下川町へ引っ越す前は香川に住んでいました。当時、仕事に熱中しすぎて家族の時間が取れないことに「このままじゃいけない」という思いが募り、長い期間暮らすことを前提に引っ越し先を探し始めたんです。そして友人がすでに下川町に移住していたことを思い出して、連絡をとりました。2014年の春に初めて下川町を訪れたとき、楽しく暮らせそうな印象を受けて、下見のあと1ヶ月後くらいにはもう引っ越して来ました。

移住した頃から、いつかお店をやりたいとは思っていたんです。生活に必要なものを町内で買いたいと常々思っていたから「じゃあ自分で作ろう」と、2024年に食材のはかり売りと喫茶「月と野菜」をオープンしました。旬の野菜や、長く使いたい生活道具、ナッツやフルーツ、液体調味料などを販売し、喫茶スペースでは手作りのお菓子を楽しめます。自分で使ったり食べたりして、本当に周りに勧めたいものを集めまし

た。商品の一部は個包装ではなく、ご自身で持ってきて来た容器に、必要な量を測って購入する量り売りという方法を取り入れていきます。下川に来てから、環境問題に関する勉強会に参加するようになり「本当に地球が大変なことになっていくんだ」と実感するようになりました。一人でできることは限られているけれど、できることから始めたい。だから、ごみが減らせる方法として量り売りを実践することにしたんです。とはいえ、まずは地域の方々に必要とされるお店になりたいし、みんなが欲しいものが手に入るお店にしたい。「こういう買い物の仕方もあるんだ」と知って、楽しんでもらいたい。お店や量り売りという買い物の仕方が、少しずつ誰かの暮らしの一部になれていたらと思います。

お店とは別に「下川ネットワーク」というLINEグループも立ち上げました。生活の困りごとや町内のお店の最新情報など、誰でもちょっとした発信ができるグ

ループです。3月の断水の時には、簡易水道の作り方や、断水解除後の電化製品のケア情報など、いち早く共有されました。私が使って良いなと思うものをお店で紹介するように、それぞれが持っている知恵や経験、「これはみんなにもお知らせしたい!」と思う情報を、町のみなさんに自由に共有できる場にしていきたいですね。そうすれば、地域全体の暮らしがもっとよくなるんじゃないかと思っています。

